

# 妻高だより 第86号

平成 28 年 8 月 10 日発行

〔発行元〕 宮崎県立妻高等学校  
〔発行責任者〕 校長 門田 誠  
〔連絡先〕 Tel 0983(43)0005  
Fax 0983(43)0004  
<http://www.miyazaki-c.ed.jp/tsuma-h/>



## 盛況!! オープンスクール

7月9日、オープンスクールを開催し、約260名の中学3年生や保護者・中学校の先生方にお越しいただきました。ありがとうございました。模擬授業や福祉体験、部活体験などを企画しましたが、本校の魅力を感じていただけたのでしょうか？ 来年の4月、妻高でみなさんに会えることを楽しみにしています！



## 日本の未来を担う ― 校内模擬選挙

今年6月に改正公職選挙法が施行され、選挙年齢が満18歳以上に引き下げられました。高校3年生の一部にも選挙権が発生するため、本校では昨年度より段階的に主権者教育をおこなってきましたが、第24回参議院議員通常選挙にともない、その集大成として3年全生徒を対象に校内模擬選挙を実施しました（7月8・9日）。投票率は94.4%を高い数値を記録、実際の参議院選挙でも有権者生徒の87.3%が一票を投じました。これからの日本・世界を担う若者たち、自覚の高さに期待大です。



## 施設実習を終えて…… 福祉科3年

福祉科3年生は、10カ所の福祉施設のご協力のもと、19日間の実習に臨みました（6・7月）。福祉科の生徒は、介護福祉士国家試験の受験資格を得るために、3年間で51日間の施設実習が課せられています。今回の実習はその締めくくりとなるもので、担当する利用者のケアプランを作成し実行するまでを、すべておこないました。この間、さまざまな「壁」にぶつかりながらも一つひとつ乗り越え、大きな成長を遂げることができました。あとは、1月に控えている国家試験へ向けて、38名一丸となって頑張ります！

今回の実習で、51日間の実習が全て終わりました。これまでの実習の中で一番、自分の介護技術向上につなげることができました。1年、2年と実習を続けてきて、年を重ねるごとに実習内容もレベルアップしていき、自分の技術向上を身にしみて感じるすることができました。この51日間で学んだことは、これからの生活にも参考となることがたくさんあるので、役立てていきたいです。 伊東瑞綺（富田中出身）



## 今夏も暑かった！ TSUMAフェス

「西都夏まつり」2日目の7月23日、妻高生の企画・運営による「TSUMAフェス」がおこなわれました。3年生の清水政志くん（妻中出身）と渡邊稔くん（穂北中出身）が司会進行を務め、吹奏楽部の演奏、カラオケ大会、借り物競争で大いに盛り上がりました。会場にお越しのみなさん、ありがとうございました。



## 吹奏楽部第5回定期演奏会のお知らせ

- 日時 9月22日（木） 開場 15:00 開演 15:30
- 会場 西都市文化ホール（ショッピングセンター「パオ」内）
- 入場無料 —



クラシックからポップスまで、いろいろな曲を演奏します。ぜひ、おこしく下さい！